

令和7年度 商業科「ビジネス法規」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年C組
教科書	ビジネス法規（実教出版）	副教材等	ビジネス法規 問題集（実教出版）

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力の育成する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 法の概要	1節 ビジネスにおける法の役割 2節 法の体系と解釈・適用 中間考査	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・ビジネスを円滑に行うことができるようにするため、経済のグローバル化、情報化・サービスの多様化、規制緩和など経済環境の変化に伴って法規の改正などが行われている現状について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について扱う。	学習態度 提出物 単元小テスト 振り返りシート 考査得点
5	第2章 権利・義務と財産権	1節 権利・義務とその主体 2節 物と物権・債権 3節 知的財産権	・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて理解する。 ・知的財産権が侵害されたときの対抗手段について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	学習態度 提出物 振り返りシート
6	第3章 財産権の変動	1節 契約 2節 物の売買 3節 物の貸借	・契約全般について、また雇用契約、売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、法規と関連付けて理解する。	振り返りシート
7		期末考査		考査得点
9	第4章 企業活動と法規	4節 不法行為 5節 時効	・契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。	単元小テスト 振り返りシート 学習態度 提出物
10		1節 企業活動の主体 2節 株式会社の特徴と機関	・企業活動の主体とその商行為の概要について理解する。 ・株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について法規と関連付けて理解する。	
		3節 資金調達と金融取引	・株式と社債の発行、金融機関からの借入及び金融商品取引法の概要について理解する。	
		4節 組織再編と清算・再建	・組織再編の形態について理解する。 ・日本における企業の組織再編と清算・再建の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を理解する。	
		5節 競争秩序の確保	・競争秩序を確保する意義及びそのための企業活動の制限について、法規と関連付けて理解する。 ・法令遵守（コンプライアンス）と説明責任（アカウンタビリティ）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付け	
				単元小テスト

		中間考査	て分析し、考察する学習活動に取り組む。	振り返りシート 考査得点
1 1	第5章 企業責任 と法規	1 節 法令遵守と説明責任 2 節 労働者の保護 3 節 消費者の保護 4 節 情報の保護	・労働三権の概要及び労働三法、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関する法規の概要について理解する。 ・労働時間、休日、休暇、就業規則及び労働災害に関する規定と考え方について扱う。 ・労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・消費者基本法、消費者契約法、不当景品類及び不当表示防止法、特定商取引法など消費者の保護に関する法規の概要について理解する。 ・個人情報保護法、不正アクセス禁止法、不正競争防止法など企業が扱う情報の保護に係る法規の概要について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっていることを理解する。	学習態度 提出物 単元小テスト 振り返りシート
1 2	第6章 紛争の解決と予防	1 節 紛争の解決 2 節 紛争の予防 期末考査		考査得点
1 2	第7章 税と法規	1 節 税の種類と法人の納税義務 2 節 法人税の申告と納付 3 節 消費税の申告と納付 卒業考査	・国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要について理解する。 ・固定資産税など不動産に対する税の概要と税額決定の考え方及び内国法人と外国法人の納税義務について、法規と関連付けて理解する。 ・消費税の仕組み、課税事業者と免税事業者の違い、課税対象、税額計算の考え方、消費税の申告・納税の仕組み及び申告書の作成など手続の概要について法規と関連付けて理解する	学習態度 提出物 単元小テスト 振り返りシート 考査得点

3 評価の観点

知識・技術	ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解している。
思考・判断・表現	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

4 評価の方法

「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点より総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

授業前に教科書や問題集、ノートを机の上に準備すること。 提出物は、期日を守り必ず提出すること。 自分の意見を活発に発言すること。
--